

授業科目(ナンバリング)	ソーシャルワーク実習指導 (精神) I (DE203)			担当教員	齊藤晋治・星野秀治・丸山貴志		
展開方法	演習	単位数	1 単位	開講年次・時期	2 年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
この科目では、ディプロマポリシーに照らし、相互理解を図ることができるようになることを目的とし以下の項目を授業のねらいとする。 ①ソーシャルワーク（精神保健福祉士）実習の意義について理解する。②精神疾患や精神障害のある人のおかれている現状を理解し、その生活の実態や生活上の困難について理解する。							①⑥⑦
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理を考え、対応できる能力と課題を類別できる。				課題レポート	15%	
情報収集、分析力	書籍やインターネットを使って、精神保健医療福祉の現状についてグループで調べ、まとめ、わかりやすく発表することができる。				グループ発表	10%	
コミュニケーション力	実習計画書を作成する意義を説明できる。 実習の四者関係を説明できる。				課題レポート	15%	
協働・課題解決力	個人またはグループでの活動に参加できる。				グループワーク	10%	
多様性理解力	様々な状況を想定し、多面的に物事を捉え、深く考察していく思考力や課題分析能力を培うことができる。				課題レポート	50%	
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
授業での活動やグループワーク・ディスカッションへの参加、グループワーク（10%）での発表（10%）及び活動後の各自の課題レポートを評価対象とする。課題レポートは、現場での体験学習後のレポート、授業での学びをレポートにまとめるもの、コースの終了後にコース全体の学びのまとめとしての課題レポートがある（80%）。詳細は授業内及びポートフォリオを通して提示する。レポートや課題へのフィードバックは授業内にて行う。							
授業の概要							
グループワーク、調べ学習、体験学習等を通して、精神保健医療福祉の現状と精神保健福祉士に求められるもの、そのために実習で学ぶべきこと及び必要となる事前学習について明らかになるよう、実習の準備に取り組む。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。							
教科書・参考書							
教科書：精神保健福祉士養成講座 『ソーシャルワーク実習指導・実習（精神専門）』中央法規（精神） 参考書：相川章子（2009）『かわりの途中でこころの伴走者、PSWが綴る19のショートストーリー』へるす出版 指定図書：精神保健福祉士養成講座 『ソーシャルワーク実習指導・実習（精神専門）』中央法規（精神）							
授業外における学修及び学生に期待すること							
グループのメンバーを尊重し合いながら、積極的に発言すること、調べること、書くこと。 更には自発的な知識習得に努め、精神保健分野の行事や映画、ニュースなどに関心を持つこと等を期待する。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	オリエンテーション	授業の進め方、評価等の確認を行う。ソーシャルワーク実習とソーシャルワーク実習指導における個別指導及び集団指導の意義について理解する。(星野)	授業の進め方について理解する
2	<u>実際に実習を行う施設・機関・事業者・団体・地域社会等に関する基本的な理解(1)</u>	実習機関(精神科医療機関、障害福祉サービス事業所、行政機関、その他)と援助方法を理解する。(星野)	実習機関の役割、援助方法について理解する
3	<u>実際に実習を行う施設・機関・事業者・団体・地域社会等に関する基本的な理解(2)</u>	長崎県内の精神保健医療福祉機関を理解する。(星野)	長崎県内の精神保健医療福祉機関を調べグループでまとめる
4	<u>実際に実習を行う施設・機関・事業者・団体・地域社会等に関する基本的な理解(3)</u>	精神科医療機関、障害福祉サービス事業所、行政機関等と長崎県の状況についてのグループの調べ学習の成果を発表する。現状と課題を考える。(星野)	精神保健医療福祉の現状に関心をもち、自分の考えをレポートにまとめる
5	ソーシャルワーク実習(精神)の理解(1)	「精神保健福祉援助実習指導」履修学生に、実習準備、実習での体験と学び、実習後の学習を学ぶ。(星野)	今後の学習に向けて、実習に関する事柄について理解する
6	ソーシャルワーク実習(精神)の理解(2)	精神保健福祉援助実習の実習報告会に参加し、利用者と支援者の現状を考える。(齊藤)	精神保健福祉の利用者の現状に関心をもち、考えをレポートにまとめる
7	ソーシャルワーク実習(精神)の理解(3)	実習報告会への参加を振り返り、実習の意義、目的、実習の四者関係、三層構造、実習における基本姿勢についてディスカッションを通して学ぶ。(齊藤)	精神保健医療福祉の現状について理解する
8	<u>精神保健医療福祉の現状(利用者理解を含む。)に関する基本的な理解(1)</u>	地域の精神保健福祉活動に参加し、精神保健医療福祉の現場を学ぶ。(齊藤)	地域の精神保健福祉活動に関心をもち、自分の考えをレポートにまとめる
9	<u>精神保健医療福祉の現状(利用者理解を含む。)に関する基本的な理解(2)</u>	地域の精神保健医療福祉の現状、他専門職の役割と機能を、グループワークを通して考える。(齊藤)	地域の精神保健医療福祉の現状、他専門職の役割と機能について理解する
10	<u>精神保健医療福祉の現状(利用者理解を含む。)に関する基本的な理解(3)</u>	精神疾患や精神障害のある当事者の語りに触れる体験を行う。当事者会の活動に参加し、精神保健福祉の現状を考える。(齊藤)	当事者活動に関心をもち、自分の考えをレポートにまとめる
11	<u>精神保健医療福祉の現状(利用者理解を含む。)に関する基本的な理解(4)</u>	精神障害を持って生活することの現状、当事者会活動、実習先で必要とされる精神保健福祉士としてのソーシャルワークに係る専門的知識と技術に関する理解を、グループワークを通して考える。(丸山)	精神保健福祉士の役割と機能について理解する
12	ソーシャルワーク実習(精神)の理解(4)	ソーシャルワーク実習の振り返りから、ソーシャルワーク実習(精神)の意義、目的を、グループワークを通して考える。(丸山)	ソーシャルワーク実習を振り返り、課題についてまとめる
13	実習の準備(1)	<u>精神保健福祉士に求められる職業倫理と法的責務に関する理解を深めたうえで、実習機関の見学に向けて事前調べ学習を行い、まとめる。実習における個人のプライバシー保護と守秘義務の理解(精神保健福祉士法及び個人情報保護法の理解を含む。)</u> について確認する。(丸山)	見学の目的、学びたいことについて理解する
14	実習の準備(2)	実習機関を見学する。(丸山)	見学を通して感じたこと、考えたことをレポートにまとめる
15	まとめ	全体を振り返り、実習の意義、目的、自己の現状と次年度までにすべき準備を、グループワークを通して考える。(丸山)	実習計画書、個人プロフィール作成等の準備をする